NO.85
2026.10

DDK News Letter

DDK通信

通信・IT ネットワークの分野では、日々新しい技術が開発され、より効率的で、より安価なサービスが次々と生み出されています。知らないことは、イコール企業利益の損失です。そこで私たち大和電設工業は、情報通信やITソリューションの『知って得する最新情報』を、お世話になっている皆様に定期的にお伝えしていきます。隔月発刊のDDK 通信、ぜひお楽しみください。

当社のkintoneはその後、どうなった!

3年前、当社がkintoneを導入したことをご紹介しました。それから3年が経ち、導入によって業務はどのように変わったのか、活用は成功だったのか。今回は、これまでの当社でのkintone活用を振り返りながら、社内業務の改善や効率化につながった事例をご紹介します。

kintoneは、プログラミングの知識がなくても、ノーコードで業務に合わせたアプリを作成できるクラウドサービスです。豊富なサンプルアプリもあり、必要なときに必要なアプリを作成して活用できます。

01 導入当初

導入当初に作成したアプリ

- 受注を回覧
- 売上を回覧
- 発注依頼を回覧
- 顧客・社員・部門 各マスターアプリ

- 代理承認や回覧スキップの機能を実現させ、遅延なく回覧が可能になりました。
- 販売管理システムで伝票を印刷するかわりに、kintoneに情報を送る仕組を導入しました。

02 マスターアプリとの連携

社員・部門マスターと連携したアプリ

- 住宅手当申請などの管理
- 社用車管理
- 受講希望申請・報告用

顧客マスターと連携したアプリ

- 故障受付
- 石綿作業記録

- EXCELの表での管理がkintoneに置き換わりました。属人化がなくなり、情報がオープンになりました。
- 検索や絞込が容易で、伝票をめくって探す手間がなくなりました。
- △ Kintoneはアプリ間のデータの連携は苦手です。
- △ プラグインを追加投入すれば実現できる機能が増えますが、費用が嵩むことになります。
- △ Kintoneアカウントの無い人には通知を送ることができません。

03 プラグインで機能強化

リマインダー機能を活用したアプリ

- 業務予定リマインダー

JavaScriptを活用したアプリ

- 在庫品の入庫と出庫の管理

メール用プラグインを活用したアプリ

- 入荷のお知らせ
- ISO改善の機会を入力

- プラグインを購入してKintoneのアカウントが無い社員にもメール通知ができるようになりました。
- 期限日になると通知するリマインダー機能により、「忘れていた」ということがなくなりました。
- JavaScriptを活用することで、複雑な処理（和暦表示・年齢計算）やアプリ間の情報共有や更新が可能となりました。
- △ 誰でも簡単にアプリを作れるようになった一方で、使われなくなったアプリや、利用者が分からないアプリが増えてきました。

Kintone には得意なことと、不得意なことがあります。しかし、不得意な部分はプラグインの導入や、自分でJavaScriptを使ってプログラミングで補完することができます。プログラミングの情報はkintoneのホームページでも紹介していますし、YouTubeでも探すことができます。最近では Copilotなどの生成AIですぐに作成して貰えます（ただし、具体的な指示が求められます）。さらに、kintoneにも生成AI機能が搭載されAIアプリが作れるようになりました。質問箱のようなQ&A等も簡単に作れそうです。また、具体的な使い道としてkintoneに保存してある受注情報から「過去３年間で受注総額が1,000万以上の顧客一覧を表示してください」とAIに依頼したら、たちまちリストを表示してくれるようになります。

kintoneは自分でアプリが作れる、情報が溜まる、溜まった情報が活用できるメリットがあります。今後、活用方法がますます広がりそうです。